






野菜の需給・価格動向レポート(平成24年11月19日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格動向			11月の価格動向		生育及び価格の11月の見通し		
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロッ ク別平均販売価 額			
		中旬	下旬				上旬	
葉 茎 菜	キャベツ 	74.19	38	42	66.3	46	・入荷見込量: 13,862 (103) ・主産地: 千葉 (45)、茨城 (18)、愛知 (16)、東京 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、定植時期が遅れたものと通常の時期のものとの出荷が重なり、多めの出荷となっていたものの、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、出荷のピークが過ぎ、徐々に減少して月末までの出荷の見込み。愛知産は、好天に恵まれ順調な生育で玉の肥大も進み、潤沢な出荷の見込み。 千葉産と愛知産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。(※トピック欄参照) 青森産は、ピークを過ぎ減少傾向、平年より早めの切り上がりで月末までの出荷の見込み。新潟産は、生育が進み太物中心の出荷となり、平年並みの出荷の見込み。秋田産は、出荷量が回復し、11/19の週末までは潤沢な出荷の見込み。 青森産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 茨城産は、生育も順調で病害虫の発生もなく、順調な出荷で、今後も平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 群馬産は、寒さの影響で少なめの出荷になっていたものの、徐々に生育が回復し、下旬に向けて出荷量の増加が見込まれる。千葉産も、夏場の少雨の影響で少なめの出荷になっていたものの、生育の遅れが回復し、今後は順調な出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。 茨城産は、出荷のピークを過ぎ減少傾向となっているものの、品質は良く、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、生育期の天候不順の影響で生育不良が続いており、少なめの出荷となっている。月末までは少なめの出荷の見込み。 兵庫産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。 北海道産は、収穫が終了し、作柄良好で前年を上回る出荷となっている。今後も平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年をやや下回って推移する見込み。 埼玉産は、順調な生育となり、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、平年並みの出荷となっているものの、切り上がりに向けて徐々に減少する見込み。 埼玉産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。 熊本産は、寒さの影響で生育が遅れているものの、今後は生育が回復し出荷量が増加する見込み。千葉産は、少なめの出荷となっているものの、今後は生育が回復し、月末にかけて出荷量が増加する見込み。愛知産は、好天に恵まれ順調な出荷となり、平年並みの出荷の見込み。 出荷量の増加が見込まれるものの、需要が堅調なことから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 高知産は、好天に恵まれ順調な生育で、平年並みの出荷の見込み。福岡産は、適度な日照時間に恵まれ、今後は安定した出荷となるものの、作付面積の微減により、平年より少なめの出荷の見込み。 福岡産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。 茨城産は、生育が順調で、平年並みの出荷となっているものの、秋作の年末の切り上がりに向けて徐々に減少する見込み。高知産及び宮崎産は、順調な出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。 千葉産は、順調な生育で、平年並みの出荷の見込み。神奈川産も、生育良好で肥大も進み、平年並みの出荷の見込み。 順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。 千葉産は、播種時期の遅れから生育が遅れ、少なめの出荷となっていたものの、今後は順調な出荷となる見込み。北海道産は、ピークを過ぎ中旬までの出荷の見込み。 千葉産の順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年をやや下回って推移する見込み。
		88.91	42	50	69.92	48	・入荷見込量: 4,000t (99) ・主産地: 愛知 (52)、茨城 (28)	
	ねぎ 	218.22	263	254	218.22	264	・入荷見込数量: 5,691t (95) ・主産地: 青森 (19)、新潟 (15)、秋田 (12)、茨城 (8)、埼玉 (7)、千葉 (6)、群馬 (5)、栃木 (4)	
		314.62	301	313	314.62	322	・入荷見込数量: 800t (85) ・主産地: 北海道 (47)、鳥取 (19)、群馬 (8)、福井 (8)	
	はくさい 	54.1	46	55	36.65	47	・入荷見込量: 13,363t (105) ・主産地: 茨城 (84)	
		69.44	43	64	53.29	64	・入荷見込量: 5,300t (109) ・主産地: 茨城 (44)、長野 (25)、熊本 (10)、大分 (8)	
	ほうれんそう 	350.1	583	491	350.1	445	・入荷見込量: 1,880t (97) ・主産地: 群馬 (42)、千葉 (17)、茨城 (13)、埼玉 (13)	
		416.76	567	568	416.76	485	・入荷見込量: 630t (79) ・主産地: 徳島 (37)、岐阜 (35)、福岡 (12)、群馬 (9)	
	レタス 	136.79	113	99	136.79	139	・入荷見込量: 7,822t (103) ・主産地: 茨城 (68)、兵庫 (10)、香川 (5)	
		147.25	142	146	147.25	176	・入荷見込量: 1,450t (100) ・主産地: 兵庫 (39)、茨城 (24)、徳島 (17)、香川 (14)	
たまねぎ 	76.15	73	67	76.15	65	・入荷見込量: 10,578t (111) ・主産地: 北海道 (88)、輸入 (9)		
	76.15	76	69	76.15	68	・入荷見込量: 4,000t (106) ・主産地: 北海道 (59)、兵庫 (37)		
果 菜	きゅうり 	262.75	264	294	262.75	338	・入荷見込量: 4,800t (100) ・主産地: 埼玉 (34)、群馬 (18)、宮崎 (15)、千葉 (10)、高知 (7)、茨城 (7)	
		284.72	252	285	284.72	327	・入荷見込量: 1,050t (109) ・主産地: 宮崎 (35)、高知 (19)、群馬 (12)、大阪 (10)、北海道 (7)	
	トマト 	315.83	600	635	315.83	677	・入荷見込量: 5,110t (100) ・主産地: 熊本 (36)、千葉 (17)、愛知 (16)、茨城 (11)、静岡 (5)	
		337.88	593	637	337.88	659	・入荷見込量: 950t (95) ・主産地: 熊本 (43)、岐阜 (12)、愛知 (10)、福岡 (7)、石川 (6)、徳島 (6)	
	なす 	301	212	246	301	287	・入荷見込量: 2,610t (100) ・主産地: 高知 (56)、福岡 (16)、栃木 (7)、群馬 (4)	
		263.21	198	237	263.21	294	・入荷見込量: 480t (96) ・主産地: 高知 (31)、熊本 (21)、岡山 (12)、徳島 (10)、福岡 (9)	
	ピーマン 	263.58	201	242	344.39	221	・入荷見込量: 1,690t (100) ・主産地: 茨城 (68)、高知 (11)、宮崎 (10)	
		282.16	229	244	353.61	227	・入荷見込量: 350t (115) ・主産地: 宮崎 (39)、高知 (31)、鹿児島 (12)、兵庫 (6)	
	根 菜	だいこん 	64.33	65	69	64.33	65	・入荷見込量: 12,718t (102) ・主産地: 千葉 (68)、神奈川 (13)
			76.48	68	78	76.48	75	・入荷見込量: 3,800t (101) ・主産地: 青森 (17)、千葉 (15)、長崎 (13)、北海道 (12)、和歌山 (11)、石川 (8)、徳島 (8)
にんじん 		123.08	93	82	100.82	86	・入荷見込量: 7,715t (100) ・主産地: 千葉 (54)、北海道 (28)、輸入 (2)	
	123.11	94	82	104.49	91	・入荷見込量: 2,400t (98) ・主産地: 北海道 (48)、長崎 (34)、千葉 (10)、鳥取 (6)		

種類	10月の価格動向			11月の価格動向		生育及び価格の11月の見通し	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	下旬	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	旬別平均販売価格		
い	さといも	200.88	225	199	200.88	189	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉産は、収穫作業のピークを迎えており、夏場の少雨の影響で小玉傾向ではあるものの、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		207.2	187	213	207.2	222	
も	ばれいしょ	88.17	78	79	88.17	78	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道産は、収穫が終了。収穫時の高温のため、発芽等が見られたものの、特に大きな影響はなく平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		88.17	79	76	88.17	77	

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

年	過去5か年平均				平成23年		平成24年	
	購入数量 (g)	金額 (円)	購入数量 (g)	金額 (円)	購入数量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	5,103	104	1,875	101
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	4,386	101	1,675	95
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	4,245	97	1,618	94
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	4,916	107	1,703	94
10月	5,262	1,862	5,037	1,884		0		0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613		0		0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792		0		0

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」

月	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	247	140	508	691	136
3月	188	238	126	461	692	150
4月	238	262	110	462	513	111
5月	172	196	114	380	409	108
6月	144	127	88	350	305	87
7月	160	119	75	324	292	90
8月	156	111	71	463	296	64
9月	155	101	65	562	307	55
10月	161	100	62	505	326	65
11月	162		0	371		0
12月	153		0	453		0

資料:総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

区分	平成22年		平成23年		平成24年1~9月		平成24年9月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	746,971	110	55,079	96
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	1,403,739	105	138,052	100
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	2,150,710	107	193,131	99
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	1,084,916	106	105,897	98
中国産シェア	51		52		50		55	

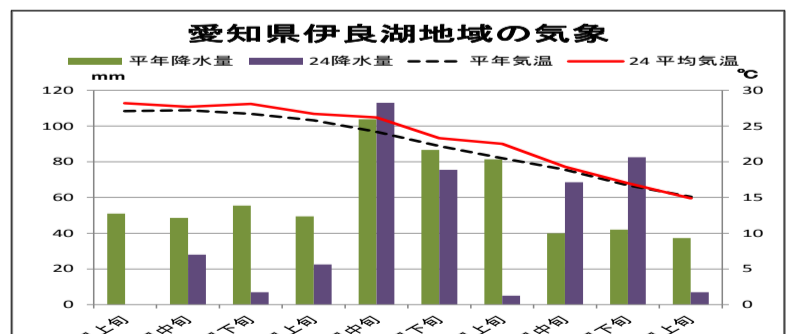
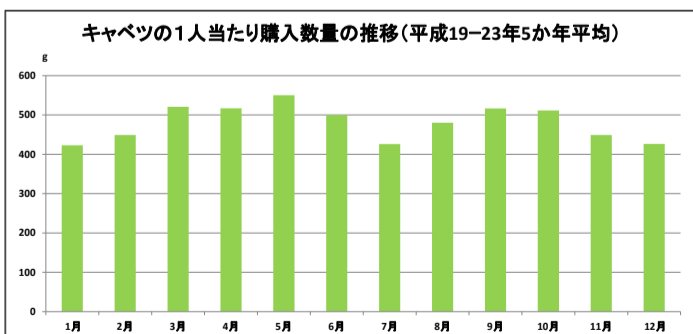
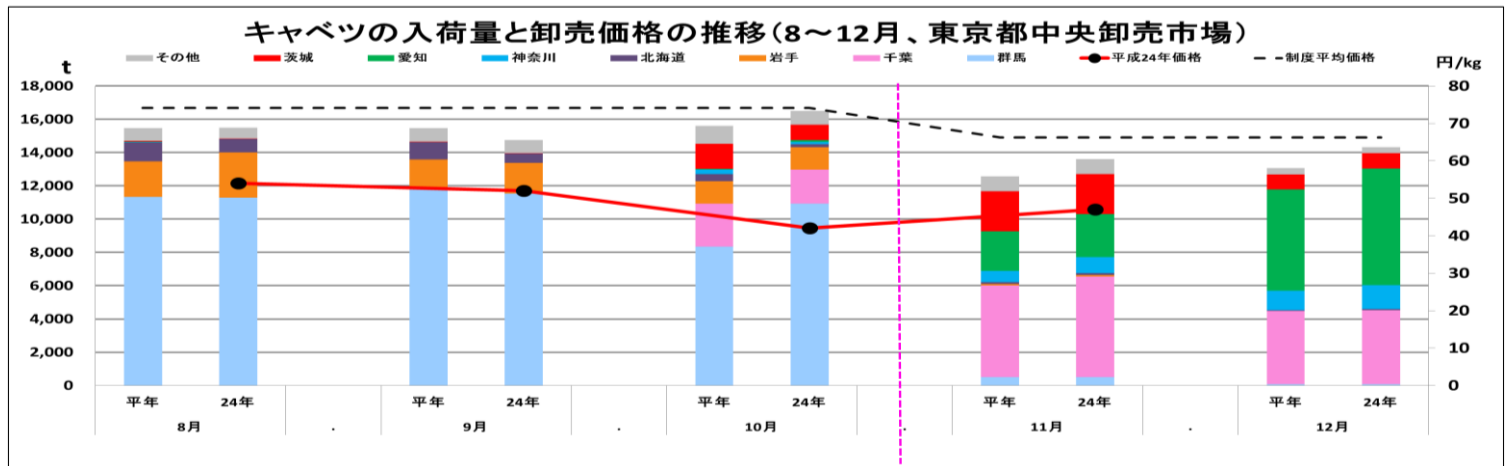
資料:ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

品目	輸入先	平成23年10月(A)	平成24年10月(B)	(B)/(A)
		たまねぎ	合計	43,059
	中国	27,886	22,758	82
	アメリカ	15,150	3,597	24
にんじん	合計	7,760	7,421	96
	中国	7,669	7,279	95
	オーストラリア	57	108	188
ねぎ	合計	5,071	5,076	100
	中国	5,068	5,066	100

資料:農林水産省「植物防疫統計」。平成24年10月は、速報値である。

4 トピック — キャベツの需給状況 —

キャベツの価格は、平年より安い状況が続いている。8月からの動向をみると、入荷量は8月はほぼ平年並み、9月は平年を下回ったものの、価格は、平年をかなり下回って推移している。これは、6月から7月にかけて入荷量が多く荷余り感が強かったところに、夏の気温が平年より高めに推移し、9月に入っても残暑が厳しかったことから、葉茎菜類であるキャベツの消費が減少したことによるものと考えられる。10月に入っても、群馬産が適度な降雨の影響等で肥大が進み入荷が増加したことから、価格はさらに下回って推移し、11月も後続の産地の入荷が順調なことから、価格が低迷しているところである。今後も、主産地の愛知産や、千葉産が好天に恵まれ、順調な生育で潤沢な入荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移するものと思われる。ところで、キャベツの1人当たりの購入数量をみると、気温の低下とともにサラダの消費が減少し、鍋物需要等によりはくさい等の消費が増加する影響を受けて、冬場は減少する傾向がみられる。キャベツには、かぜを予防するビタミンCや胃かきよう等の予防に効果があるビタミンU等が含まれており、忘年会等で弱った胃をいたわるためにも、多く摂取したい野菜の一つである。農林水産省では、このような状況を踏まえて、新たにキャベツを使ったレシピを紹介している。これを参考にすることで、キャベツをこれまでになく摂取してみたいかが。



- ◆問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
- ◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
- ★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alico.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。